

学校だより

百折不撓

四ノ宮

上野原西中学校 学校通信

第 9 号

令和 6年 12月25日(水)

文責 校長 森 卓弥

TEL 62-3103

80 日間の長い二学期が終わりました。各代表者の言葉

※1 年生

僕が二学期で頑張ったことは若葉祭です。初めての若葉祭で緊張したけれど、文化の部では、みんながたくさん練習していたので劇や自分の役もうまくできました。また、ダンスもみんなうまく踊れて満足のできる学園祭になりました。

クラスでは副委員長として周りの人に注意をすることができました。前期と後期の学級副委員長をやっていて、クラスが一番変わったと思ったことは、授業中の態度です。前までは先生に言われないとずっと喋り続けていたり、注意する人が少なかったりしたのですが、今では授業中に喋る人が減り、しっかり注意できる人も増えてきたので、そこが良かったと思います。

冬休みに楽しみなことは、従兄弟の家に行くことです。従兄弟とは、ゲームをしたり、雪で遊んだりしたいです。

三学期に頑張りたいことは、期末テストで良い結果を残すことです。二学期の期末テストでは、満足いく結果が得られませんでした。三学期は良い結果を残したいと思っています。三学期は2年生になる準備期間なので、1年生に頼られるような2年生になれるように自分自身の目標も、クラスの目標である「自分の役割をしっかりと果たす」「チャイム席を守る」「積極的に意見を言う」も達成できるようにしたいです。



※2 年生

私達2年生は、若葉祭や生徒会選挙の取り組みを通して、一学期のときより仲を深めることができたと思います。若葉祭の取り組みの体育の部では、クラス関係なく協力し、お互いに声を掛け合い、各クラスやブロックでの練習は団結力を築きあげ、文化の部では、クラスで話し合い、お互いの意見をお互い尊重し合い、素敵な発表を作り上げる事ができました。

生徒会役員選挙では、4人の立候補者をみんなで支え、応援することができたと思います。またタスキやポスターも、それぞれの候補者を応援するために心を込めてつくり、絆を深めながら来年度のリーダーについて考えることができたと感じました。

それでもまだ、2年生はあいさつ、授業に集中できる環境作り等、当たりまえにできなければならない事ができていないという課題点もあります。三学期にはお互いに声をかけ合い、個人でも意識し、当り前の質を高め、来年度は最高学年として全校を引っ張っていくことができるようにしたいと思っています。



※3 年生

私達3年生にとって、二学期はこれまで以上に忙しく、充実した日々になりました。

若葉祭は、体育部門のムカデ競争が特に印象に残っています。最初は全然息が合わずに転んでばかりだったけれど、リーダーの呼びかけと全体のかけ声を合わせることで全員の心が一つにまとまり、本番では1位を取ることができました。暑い日差しの中、みんなで泣いたり笑ったり……中学校



生活最後の若葉祭を最高の思い出として心に刻むことができました。

音楽会は少ない練習時間を大切に一生懸命練習し、本番は私たちの歌声を通して多くの人に歌の素晴らしさ、3年間で築き上げた仲間との絆を伝えることができました。「西中の伝統」と言われてきた「合唱」を、次の世代の2年生に残すことができたと思います。

勉強にも力が入りました。特に10月、11月の教達検は自分の進路を決めるにあたって大事な試験でした。毎月試験に追われ、本当に大変でしたが、それぞれが勉強の仕方を工夫して自分の目標に向かって勉強することができました。

生活面では、一つ一つのことの質を上げることができたと思います。例えば、授業に積極的に参加する、校則をしっかり守る、時間を意識して行動する、隅々まで掃除する、など些細なことでも気を抜かず、真面目に取り組むことができました。

私は、今年の冬休みは、受験に向けて勉強する環境を整えることに挑戦したいです。長い休みに入ると、どうしても早寝早起きができなかったり、ダラダラしたりしてしまうことがあります。「あと少しで入試」ということを意識して生活習慣を整え、勉強時間を沢山確保していきたいです。また、家族と家の大掃除をしたり、お雑煮を食べたりと冬休み中にしかできないことの時間も大切にして、勉強の息抜きもできるようにしたいです。

そして三学期は体調に気を付けて学校に登校し、入試に向けての勉強をすることで、自分の志望校に合格できるようにしたいです。また、学年の仲間たちと過ごせる最後の学期なので、10年後、20年後に「中学校時代はいい仲間たちと最高の時間を過ごせたなあ」と悔いなく思えるよう、仲間と過ごせる残された日々を「宝物」として大切にかみしめたいです。

※生徒会

みなさん、こんにちは。そしてメリークリスマス。長かった2学期も今日が最終日となりました。その2学期を前半と後半に分けて振り返りたいと思います。

前半は若葉祭を中心として活動しました。『瞬花終闘』をテーマに掲げ、さまざまな活動を行いました。私は今年度の若葉祭が今まで以上に楽しいものになったと感じています。その理由としては、ブロック活動、全校参加体制のオープニング&エンディング、体育祭の感動のフィナーレ、その他いくつか思いつくものが挙げられます。これは各部門・各クラスをはじめとする一人ひとりの協力があったからだと思っています。改めて若葉祭への協力に感謝したいと思います。ありがとうございました。来年度もみんなでつくり上げられる素晴らしい若葉祭にしてください。

二学期の後半では今まで行事の取り組みに時間を取られていた分を日常の学校生活にスポットを当てて取り組むようにしています。各委員会では4月から年間で、様々な活動を企画しています。私達本部でも学校の行事や委員会活動にスポットを当てて生徒会だよりを発行することにしました。先日は朝読書の時間を意識する活動、教室美化のチェックを始めました。行事の成功は日常生活がしっかり行えているかどうかで決まります。今後も引き続き、生徒会の諸活動にご協力よろしくお願いします。みなさんが楽しい冬休みを過ごし、よい年を迎えられますように……。 (生徒会の発表は、原文の記載が間に合いませんでした。)



校長室でのつぶやき

昨日、地域の方から本校の生徒の行動に対して、感謝のお言葉をいただきました。

どのような行動なのかというと、その方は、もともと体調を崩している中、学校の坂を散歩していたそうです。ところが途中で歩くことができなくなり、しゃがみ込んでいたところ、2名の女生徒が声をかけてきて介抱してもらったということです。生徒たちの自然と振る舞うことのできる「優しさ」は、一朝一夕で身に付いたものではなく、ご家庭でのご指導があってこそだと思います。私からも感謝の気持ちを込めて終業式で話をさせていただきました。

